

「京の祭」は
エコゼロポエ!!

2R行動ガイド

しまつのこころ得



祭
の巻
まつり

「京の祭」は
楽しく、エコに!!



「観光のまち」

「学生のまち」であり、

地域の伝統行事が今も数多く受け継がれる京都。

たくさんの方が集まる祭りやイベントは

短期間で大量のごみが発生し、

環境に大きな負荷を与えておる。

環境に負荷が少ない「エコイベント」となるよう、

「やつで」で13の技を颯爽と紹介するぞよ!

これまでに京都市では、食品ロス等のごみが多く発生する3つの場面(日々の暮らし、宴会、旅)で皆様により一層2R*に取り組んでいただけるよう「2R行動ガイド しまつのこころ得」を3巻発行しています。さらに、英語・中国語・ハンデル版も作成しています。

※無駄・非効率・必要以上の消費・生産を抑制する「リデュース(発生抑制)」、再使用する「リユース(再使用)」



リユース食器助成制度

イベントから出るごみの大半を占める使い捨て食器をなくし、ごみ減量の特効薬となる「リユース食器」の導入費用に対する助成制度を設けています。導入費用の2分の1(上限50万円)を助成しています。

分別リユースごみ箱の貸し出し制度(無料)

ごみの分別を推進し、参加者の環境意識の向上を図るため、イベント時の分別リユースごみ箱の貸出を実施しています。

お問い合わせは、**ごみ減量推進課**または各区役所・支所内の**エコまちステーション**へ

この印刷物が不要に廃れず「雑がみ」として古紙回収等へ!



監修:京都市廃棄物減量等推進審議会循環型社会・ごみ半減をめざす条例・プラン推進部会
発行:京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課 平成31年3月 京都市印刷物303228号



138

平成29年度の「京都市認定エコイベント」の登録イベント数

日本三大祭りの一つに数えられる祇園祭から観光行事、学園祭、地蔵盆や地域のお祭りまで年間1万件を超えるイベントが開催されています。

ごみゼロを目指す“しまつのこころ得”
シーン別の技を紹介

祭の最中



エコ推進課
マイバッグ・マイカップの
ご持参ご協力も!

お祭りやイベントをエコに。
来場者にわかりやすく伝え、
どんどん巻き込もう。

祭の前



企画段階からごみ減量を
考えましょう。

祭の後



「お祭り前よりも美しく」を
合言葉に

祭の設営中



NO使い捨て容器!
食器はリユースで!
返却場所は明確に!

京都に息づく「しまつのこころ」

ごみも、もとをたどればごみだったわけではなく、もとは動植物のいのちや地球の貴重な資源です。そのため、私たちは、多様ないのちとともに、限りある資源を分かち合いながら生きていくことを自覚し、大切ないのちを無駄にせず、資源やエネルギーの消費を減らさねばなりません。

京都市には、豊かな自然と長い年月、多くの人の手により育まれてきた伝統行事、伝統文化・工芸、食文化などがあり、また、自然と共生しながら生活してきた知恵や工夫、心構えとして、門掃きや打ち水、「しまつのこころ」などがあります。

「しまつのこころ」とは、いのちや資源、それを活かす作り手の皆さんへの感謝のこころから生まれてくる考え方であり、「無駄遣いしない」、「節約・節約する」という意味で用いられ、生産から廃棄のことまで考えて、「良いものを長く使う」ようにする、電気や水の使用を節約するなど、2R^{*}にもつながる考え方です。これは、季節の食材を余すことなく使い切る京都市の食文化などにも息づいています。

この冊子を御覧いただき、できることから少しずつ環境にやさしい取組を進めていきましょう!

* リサイクルだけに頼らず、無駄・非効率・必要以上の消費・生産を抑制する「リデュース（発生抑制）」、再使用する「リユース（再使用）」を重点的に進める考え方

402

グラム

市民1人1日あたりの家庭からのごみ量は他の政令市平均の70%で、政令市中最少です(平成29年度)。

唯一の最終処分場である「東部山間埋立処分地(エコランド音羽の杜)」の使用期間は、ごみ半減を達成してもあと約50年で、子どもや孫の世代に少しでも長く引き継ぐために、皆様のより一層の御協力が必要です。

1/2

以下

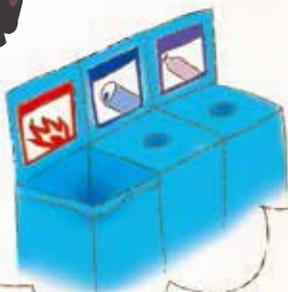
京都市のごみ減量の目標は、ごみ量をピーク時の年間82万トンから平成32年度までに39万トンへ半減以下にすることで、環境負荷の低減とごみ処理経費の削減を進めています。

約50年

あんな技 こんな技

祭の前

「京都市認定Eコイベント」を京都市ホームページで紹介しているのじゃ！登録証の交付やのほりも貸し出ししているのぞ、ぜひ登録を！



あんな技 こんな技

祭の設営中



リユース食器は返却してね！



お祭じでは6種類の分別回収ができるよ！分別を呼び掛けましょう！

燃やすごみ	かん
ペットボトル	ペットボトル
びん	びん
リユース食器	びん
紙くず	紙くず

技1 エコ活動を考えたお祭りに！

お祭りを企画・主催する人が、少しでも多く環境について考えること。それが来場者へのエコ意識の拡大につながります。

技2 京都のお作法「ごみゼロ」のお祭りに！

無駄なごみを出さないことで、ごみ量を減らせます。できるだけ、来場者にごみを持ち帰ってもらうように呼びかけましょう！

技3 地産地消。これもまたエコ！

お祭り会場で売る商品や使う物もできれば地元の農産品や地場産業で。輸送にムダなエネルギーを使いません！

技4 つけっぱなし、出しっぱなし！忙しいイベント中は盲点になりがち！

電気・ガス・水道の使用は、スタッフがしっかりと管理を。ムダをなくす計画と参加者への呼びかけも節約のポイントです。

技5 NO使い捨て容器！食器はリユースで！

お祭りの後に残るのは思い出と、大量のごみの山。使い捨て容器をやめて、リユース食器を使いましょう！

はっはっはっ！提供時の声掛けと返却場所をわかりやすくすることじゃな！



技6 ごみ箱も使い捨て？分別リユースごみ箱の活用を！

京都市では、分別リユースごみ箱の貸出を無料で行っています！ぜひご活用を！分別の声掛けから、袋の交換まで徹底しましょう！

あんな技 こんな技

祭の最中

地藏盆は町内が一
緒になって環境と
まちの未来のこと
を考える絶好の
チャンス!!



技 7

チラシってそんなにいる？

チラシは余ればごみになります。回覧板やSNSなども有効に活用し、印刷枚数を減らしましょう！ さらに、どうしても余ってしまったチラシは雑がみとしてリサイクルしましょう！

技 8

移動手段もエコで！

近くのお祭りに行くときは、自転車や徒歩で！ 遠くのお祭りは、公共交通で参加しましょう！

技 9

あなたも、わたしも、

マイ・マイ・マイ!!

マイバッグ・マイボトル(カップ)・マイ箸の持参をもっとアピールしましょう！
マイ・マイ・マイを実践している人には、お得感をアピールするなどの工夫も！

技 10

来場者と一緒に

取り組もう！

エコの取り組みの一つひとつに触れてもらうことで、来場者の環境に対する「気づき」のきっかけになります！

技 11

お祭りでも

マナーを守って！

ごみのポイ捨ては厳禁です！ お祭りでの缶・びん・ペットボトルをきちっと分別しましょう！ 来場者はごみの持ち帰りにも協力しましょう！

技 12

開催前よりも美しく！

お祭り終了後は、使用した会場とその周辺をスタッフみんなでごみ拾い。分別したごみは、必ず適正に処理しましょう。

技 13

のぼりやユニフォームの

再利用

一度しか使わないなんてもったいない！ 他のお祭りで再使用することも考えて準備しましょう。

あんな技 こんな技

祭の後

ごみ拾いせずとも
わしの秘技で
片づけてやる！



師匠!!そんな技
ないでしょっつ
真面目にわしを
ごめんなさい

